

産学官連携さらに深める

有明産業振興会が総会 地場企業の技術向上へ

有明広域産業技術振興会

(系永一平会長)

は十日、

有明高専で平

成二十六年

度の総会を

開催。総

会後は講

演があり、

有明高専

物質工学

科の藤本

大輔准教

授、電子

情報工学

科の石川

洋平准教

授が研究

事例を發

表した。

総会で系

永会長は

「経営環

境が厳し

いなか地

場産業は

頑張って

います。有

明高専に

も国の補

正予算で

特別な機

器が設置

されたと聞いています。私たちも産学官が連携し活用でき技術の向上に期待します」とあいさつした。

承認された今年度の事業計画では、有明地域の企業と有明高専との交流促進を図り、地域産業の振興と発展、会員企業と有明高専の技術相談や共同研究開発の「橋渡し役」を務め



挨拶する系永会長

ることなどを基本的な方向性に掲げ、産学官連携交流、情報・広報の各種事業

に取り組む。

今年度は産学官連携で、有明高専の地域共同テクノセンターのサテライトオフィスを設置するとしている。

研究事例発表は藤本准教授が「超ナノ微結晶ダイヤモンド電極の有機合成への応用に関する研究」。

石川准教授は「地場企業と連携した起業に関する協働教育システムの構築をテーマにそれぞれ講演した。